

令和 7 年 2 月 1 3 日

南箕輪村議会議長 様

提出者名 太 田 篤 己

議員研修・議員視察結果報告書

研修名または視察テーマ	長野県地方自治政策課題研修
研修・視察実施場所	役場講堂（オンライン動画）
研修・視察の期間	令和 6 年 1 1 月 1 2 日
研修・視察の成果等	「地域の防災・減災力をどう底上げするか？～産官民の役割について考える～」とのテーマで総務省消防庁消防大学校 客員教授 瀧本浩一氏による講演を視聴。 まず、災害は広域なものと狭い地域のものに分けて考える必要がある。南箕輪村で想定される大規模自然災害は地震と土砂災害である。 次に、この災害における防災と減災についてその対策と課題を分析することが肝要である。 このことが今回の講演を聴き成果があった点である。特に強く感じたことは、いま防災対策として取り組んでいることの多くが、発災後の取組であり減災対策であること。減災対策に多額の資金を投入し腐心するより、防災対策への取組を優先することが重要である。また、防災対策は個人レベルでできることを自治体、自主防災組織が住民に徹底して周知する必要がある。このことにより財政面での負担を軽減するとともに、実効性のある災害対策になると考える。

※研修・視察終了後、議長または委員長が定めた期日までに提出すること。